

## 1. 会社概要（基本情報）

会社名	株式会社FOLIO	
所在地	住所	〒102-0082 東京都千代田区一番町16-1 共同ビル一番町4F
	電話	03-6261-5152
	HPアドレス	<a href="https://folio-sec.com/">https://folio-sec.com/</a>
代表者	四元 盛文	
金融商品取引業登録番号	関東財務局長（金商）第2983号	
登録年月日	平成 29 年 4 月 4 日	
協会会員番号	012-02779	
業務開始年月	2017年7月	
資本金	50,000,000円	
受付窓口	経営企画部 武藤 雄太	
電話	03-6261-5152	
E-mail アドレス	<a href="mailto:ymuto@folio-sec.com">ymuto@folio-sec.com</a>	

## 2. 運用の特色（投資哲学、運用スタイル等）

当社は、「Keep Innovating The Financial Industry」というミッションを掲げ、誰もが、簡単に効率よく資産運用を行うことができるよう、AI活用や投資一任プラットフォームの提供を通じて、一般のお客さまや金融機関に対して、投資一任運用ソリューションを提供しております。このミッション実現に向けて、当社がお客さまに提供する投資一任運用サービスでは、比較的少額の資金からの運用を可能とし、先進的な運用戦略とテクノロジーを駆使した運用の提供を目指しています。

当社は、お客さまのために忠実に、かつ善良な管理者の注意をもって運用するほか、以下に定める運用方針に則り、投資一任運用サービスを提供いたします。

- ・グローバル分散投資を実現するために、多様な資産クラスへの投資によって運用する。
- ・資産クラス毎に「資産規模」「流動性」「低コスト」の観点から最良と考える銘柄を選定して運用する。
- ・金融工学や人工知能技術などを用いた科学的・客観的な方法により最適なポートフォリオを算出し運用する。
- ・予め定めた条件に合致した場合、お客様のポートフォリオの配分比率を最適な状態に戻すためのリバランスを実施する。

当社が直接お客さまに提供している投資一任運用サービスは以下の通りです。

- ・「おまかせ投資」：お客さまのリスク許容度に応じて、最適な運用プランを提案・運用するロボアドバイザー
- ・「ROBOPRO」：AIが相場上昇・下落を予測し、投資配分をダイナミックに変更するという特徴を持つAI投資サービス

### 3. 投資に関する意思決定プロセス

運用担当部署が、運用戦略及び投資対象銘柄の選定を行って、当社の正式な会議体のひとつである投資委員会に諮ります。運用戦略及び投資対象銘柄は、投資委員会の全員一致の決議により、承認されなければならないこととしています。

又、運用担当部署は、最適ポートフォリオの実際の運用状況を常にモニタリングし、必要に応じて、運用対象銘柄の変更及び運用戦略の調整や変更を投資委員会に発議します。これらも投資委員会の全員一致の決議事項としています。

さらに、マーケット急変時等、投資委員会のいずれかの委員が協議、決定することが必要であると認める事項が生じた際も、投資委員会を開催して対応を機関決定することを定めています。

### 4. 運用体制

運用担当部署は投資運用部であり、構成人数は3名、平均経験年数は約6年となっております。投資委員会は代表取締役、内部管理統括責任者、管轄する役員及び執行役員、主管する部門の部門長を中心とする関係者により開催されます。

### 5. 運用金額

2024年5月8日時点で、運用資産残高は約1,406億円となっております。

なお、運用資産残高は以下の合計金額となります。

- ・当社が直接お客さまに提供する投資一任運用サービスの運用資産残高
- ・投資一任プラットフォーム「4RAP（フォーラップ）」を通じて、当社が運用業者として携わる投資一任運用サービスの運用資産残高

## 6. 運用実績

### ◆「おまかせ投資」

おまかせ投資は、お客様のリスク許容度に応じて5つの運用プランを提示しております。サービス開始された2018年11月2日から2024年4月30日の期間で見ると、4月30日時点でのパフォーマンスは以下の通りです。

- ・「安定運用」プラン：+63.15%
- ・「堅実運用」プラン：+66.54%
- ・「バランス運用」プラン：+81.38%
- ・「積極運用」プラン：+93.19%
- ・「チャレンジ運用」プラン：+97.91%

### ◆「ROBOPRO」

ROBOPROの運用実績はサービス開始された2020年1月15日から2024年4月30日の期間で見ると、4月30日時点で+80.07%となりました。

詳細については、以下のURLをご参照ください。

[https://note.com/folio\\_sec/n/n9257ede5c36d?sub\\_rt=share\\_pb](https://note.com/folio_sec/n/n9257ede5c36d?sub_rt=share_pb)

#### 【計算の前提】

- ・当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆又は保証するものではありません。
- ・計算は円建てで、サービス開始時に100万円投資した場合の損益を表示しています。
- ・運用報酬料（現金部分を除く、年率税込1.1%）及び間接的に負担いただいている各ETFの信託報酬等を控除して算出しています。
- ・分配金やリバランス時の譲渡益にかかる税金は考慮していません。
- ・ETFの分配金はリバランス時に再投資を実施したと仮定しています。
- ・リバランスは最適ポートフォリオとの乖離がないように実施したと仮定して計算されています。
- ・「ROBOPRO」のサービス開始時期は2020年1月15日、「おまかせ投資」のサービス開始時期は2018年11月2日です。

なお、ROBOPROは、金融庁が公表したロボアドバイザーの2022年末までの過去3年のパフォーマンスで第1位を獲得しました。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000119.000022761.html>

※「国内運用会社の運用パフォーマンスを示す代表的な指標（KPI）の測定と国内公募投信についての諸論点に関する分析」の公表について（別添）「2022年末（4）ファンドラップ関連」（2023年4月21日）

<https://www.fsa.go.jp/common/about/research/20230421.html>

- ・2022年末時点。対象は主な投資一任型ロボアドバイザー5社。各社がサイトで公開している「コスト控除後・円建て」の月次データを基に計測。各社公開データは、2017年8月にロボアドバイザー提供会社が行った「情報開示の更なる向上に関する共同宣言」に基づき開示されている。「ROBOPRO」はサービス開始が2020年1月15日のため、計測期間の3年は2020年1月15日から2022年末までの約3年。
- ・運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆又は保証するものではありません。

## 7. アピールポイント

当社は2015年12月に独立系オンライン証券会社として設立し、2021年8月に資本提携によりSBIグループに入りました。個人投資家向けの投資一任サービスとして「おまかせ投資」「ROBOPRO」を提供すると共に、2021年1月からは「4RAP（フォーラップ）」という名称で金融機関向けに投資一任サービスを提供するSaaS型プラットフォーム事業も推進しています。

また2023年12月には、当社が投資助言を行う公募投資信託「ROBOPROファンド」がSBI岡三アセットマネジメント株式会社により設定されました。このファンドは、FOLIOの「ROBOPRO」の運用手法を用いたファンドで、より多くの投資家の皆さまに「ROBOPRO」の運用手法を享受していただけているものと考えています。

### ◆ FOLIOが進める「AI投資」について

- ・マーケットデータから特徴量を算出し、多角的に分析して相場の先読みに役立つものを厳選
- ・AIが相場の変動要因やその傾向を分析し学習を行い、予測モデルを自動で継続的に改善
- ・AIが算出した予測値に伝統的な金融工学理論を組み合わせた当社独自のアルゴリズムを開発し、最適と考えられるポートフォリオを算出

### ◆ 4RAP（for Robo Advisor Platform）の概要

4RAPは銀行・証券会社等の金融機関向けのSaaS型の運用基盤システムで、導入金融機関は自社のお客さまの口座・預り残高を活用した投資一任運用サービスを提供することが可能となります。4RAPは複数の投資一任運用サービスを管理する機能を標準装備しており、運用手法の異なる商品や、ネットと対面の販売チャネルごとの商品を同一の運用基盤システムで管理することが可能です。この特徴を活かし、SBI証券が提供する「SBIラップ」では、AIを運用に活用したコースに加え、野村アセットマネジメント株式会社の独自戦略を活用した運用コースも提供しています。

〈導入実績〉

- ・2022年3月：株式会社SBI証券
- ・2023年4月：株式会社愛媛銀行

※2023年11月には岡三証券株式会社と「4RAP」導入に向けた取り組みについて合意しており、2024年度上期に投資一任運用サービスの提供開始を予定しております。

### ◆ 実績等

- ・金融イノベーションの取り組みを表彰する「Japan Financial Innovation Award 2021」でROBOPROが大賞を受賞

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000086.000022761.html>

- ・ラップ業務にかかる投資一任契約に関し、2022年度に続き、2023年度も第3四半期までの期間において契約増加件数第1位（※）

※一般社団法人日本投資顧問業協会による統計資料「契約資産状況『ラップ業務』」に掲載されている協会会員の「投資運用」契約件数（個人及び法人の合計数）を用いて、2022年3月末時点から2023年12月末時点までの増加件数を計算したものです（2024年3月FOLIO調べ）。FOLIOの契約件数は、SBIラップ、ひめぎんラップおよびFOLIOが提供する投資一任サービスの契約件数の合計値です。